

熊本県立大学

南阿蘇における 景観を活かした地域づくり

熊本県立大学
澤田ゼミ 南阿蘇班

鹿子木亮太
芹川美咲
小山めぐみ
小嶋俊也
高橋遼
中神敬浩
村元真奈美

研究の目的

- 対象地域の抱える課題
美しい景観を活かした地域づくり
- 依頼内容・調査の目的
美しい景観を活かした地域活性につながる提言を行うために調査

調査方法

- 現地調査
 - ・目的・・・南阿蘇の現状把握
 - ・日時・・・平成23年9月17日（土）
- アンケート調査
 - ・目的・・・外部団体の活動調査アンケート
学生の南阿蘇に対する意識調査
 - ・日時・・・平成23年 10月下旬・11月上旬

現地調査

- 現地調査の写真

現地調査から分かったこと

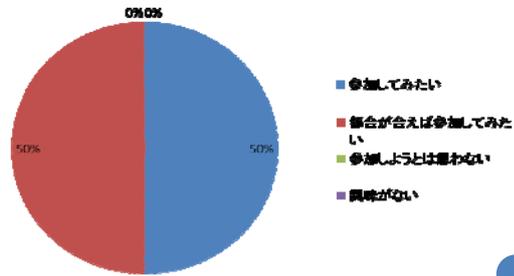
- ・景観に対する意識向上
- ・女性の力の活用
- ・PRが必要
- ・協力・連携が必要

アンケート調査

- どのようなアンケートを誰に行ったか
 - ・南阿蘇、熊本市、人吉市
 - ・熊本県立大学学生（372人）
- アンケート調査の概要
 - ・実施時期 10月下旬、11月上旬
 - ・対象者 各活動団体、学生

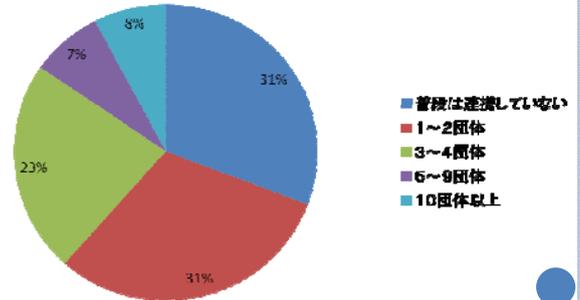
調査結果① 団体間の連携・協力

地域づくり団体の連携・協力を円滑にするための新たな場や仕組みがあれば、参加したいと思いますか。



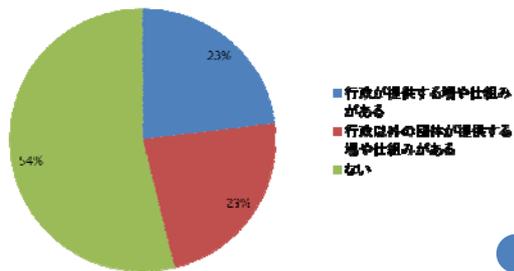
調査結果② 連携団体数

貴団体が普段から連携している他団体の数はどのくらいですか。



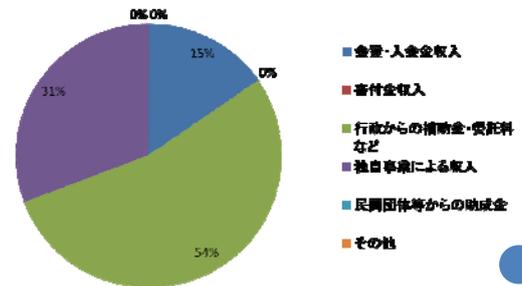
調査結果③ 連携の場の有無

地域には、貴団体と他団体との連携・協力を円滑にすることを主な目的とする場・仕組みが存在しますか。



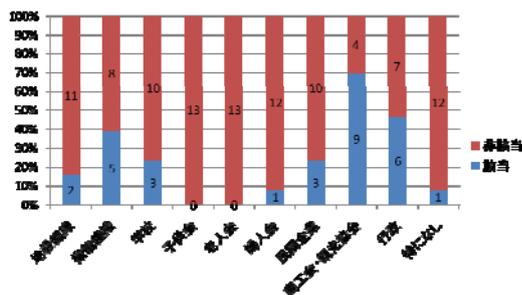
調査結果④ 主な収入源

貴団体の収入において一番大きな割合を占めているものは次のうちどれですか。

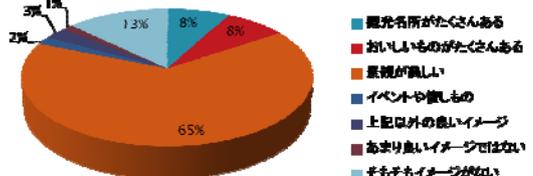


調査結果⑤ 連携したい団体

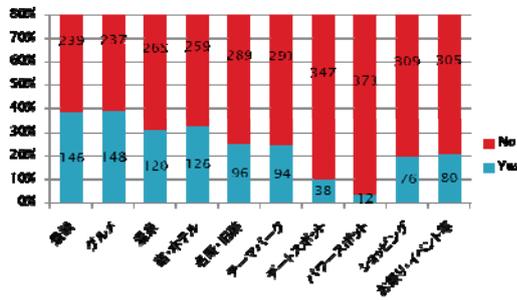
これからの活動の中で、どのような団体と連携することが最も必要だと感じていますか。



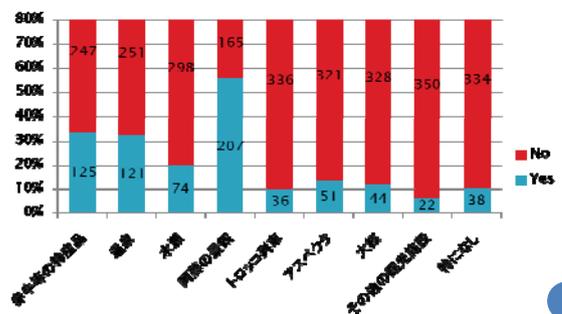
調査結果⑥ 南阿蘇のイメージ



調査結果⑦ 観光先の決め手



調査結果⑧ 「南阿蘇」から連想するもの



4つの提言

- ①各団体の連携の場をつくる
- ②発想の転換
- ③景観の重要性
- ④情報発信

提言①：各団体の連携

- 課題
 - 積極的な交流が行われていない
 - ⇒提言① 各団体の連携
- 提言により期待される効果
 - ・ノウハウと知識の共有
 - ・自分の団体の活動に活かす
 - ・大がかりなイベントの実施

提言②：発想の転換

- 課題
 - 行政依存、受身からの脱却
 - ⇒提言② 発想の転換
- 提言により期待される効果
 - ・住民主体の活動
 - ・意識・モチベーション向上

提言③：景観の重要性

- 課題
 - 地域資源の再認識
 - ⇒提言③ 景観の重要性
- 提言により期待される効果
 - ・意識向上
 - ・より美しい景観の維持
 - ・話題作り

提言④：情報発信

●課題

外部認識が薄い

⇒提言④ 情報発信

●提言により期待される効果

・集客効果

・認知度

ご清聴ありがとうございました。